

調査件名 デザイン演習 II

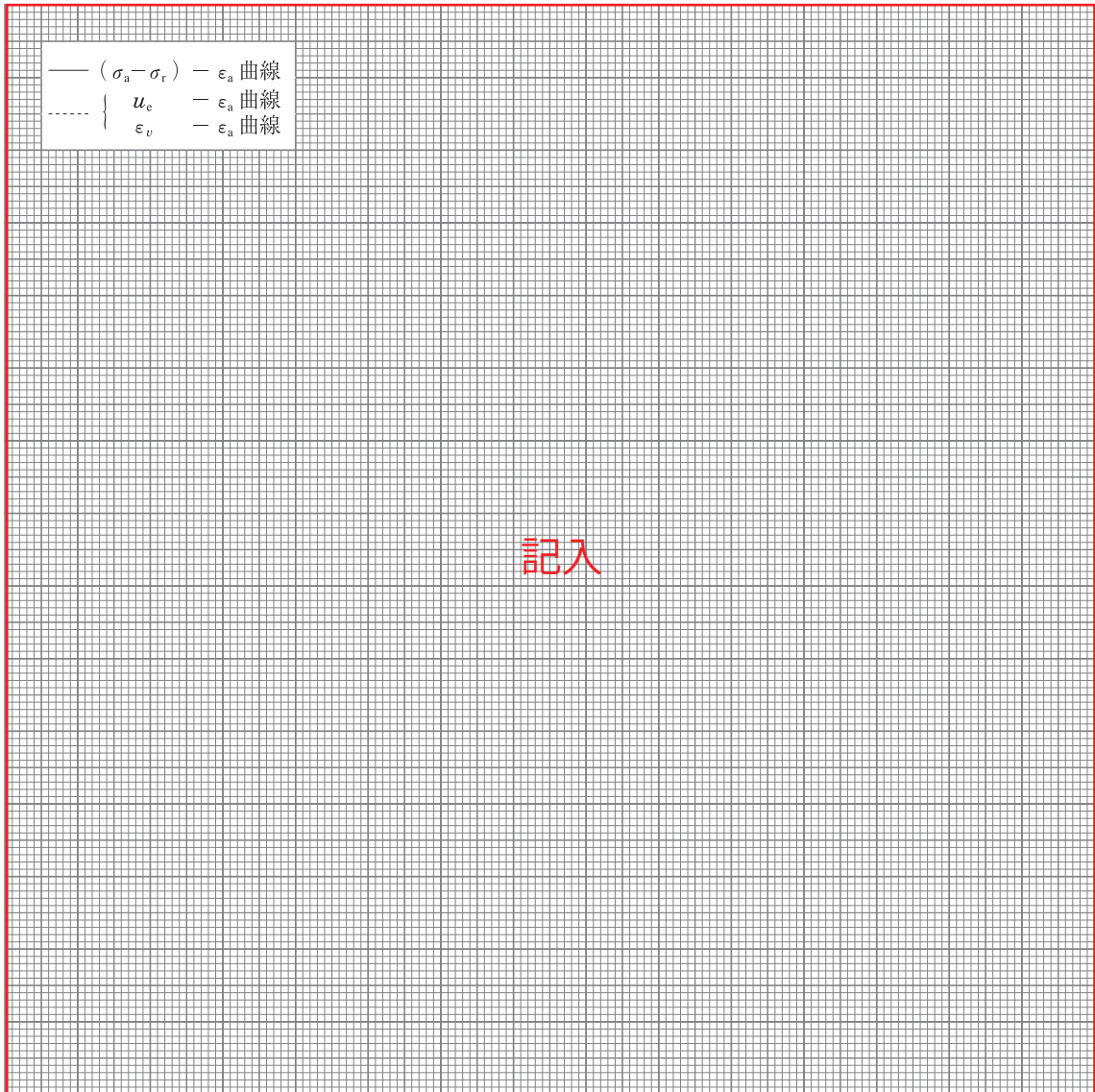
試験年月日 2016年10月30日

試料番号 (深さ)

試験者

土質名称	砂	供試体 No.	1	2	3		
1)		セル圧・圧密応力 kN/m ²					
1)		背 圧 u_b kN/m ²		記入			
ひずみ速度 %/min	0.5	圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{max}$ kN/m ²					
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。		主 応 力 差 最 大 時	軸ひずみ ϵ_{af} %				
			CU	間隙水圧 u_f kN/m ²			
				有効軸方向応力 σ'_{af} kN/m ²			
				有効側方向応力 σ'_{rf} kN/m ²			
			CD	体積ひずみ ϵ_{vf} %		記入	
間 隙 比 e_f							
供試体の破壊状況							

主応力差 $(\sigma_a - \sigma_r)$, 軸圧縮に伴う間隙水圧増分 $u_e = u - u_b$ (kN/m²)



体積ひずみ ϵ_v (%)

軸ひずみ ϵ_a (%)

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]